

「人間関係づくり研修」プログラム

国立江田島青少年交流の家

1 活動内容

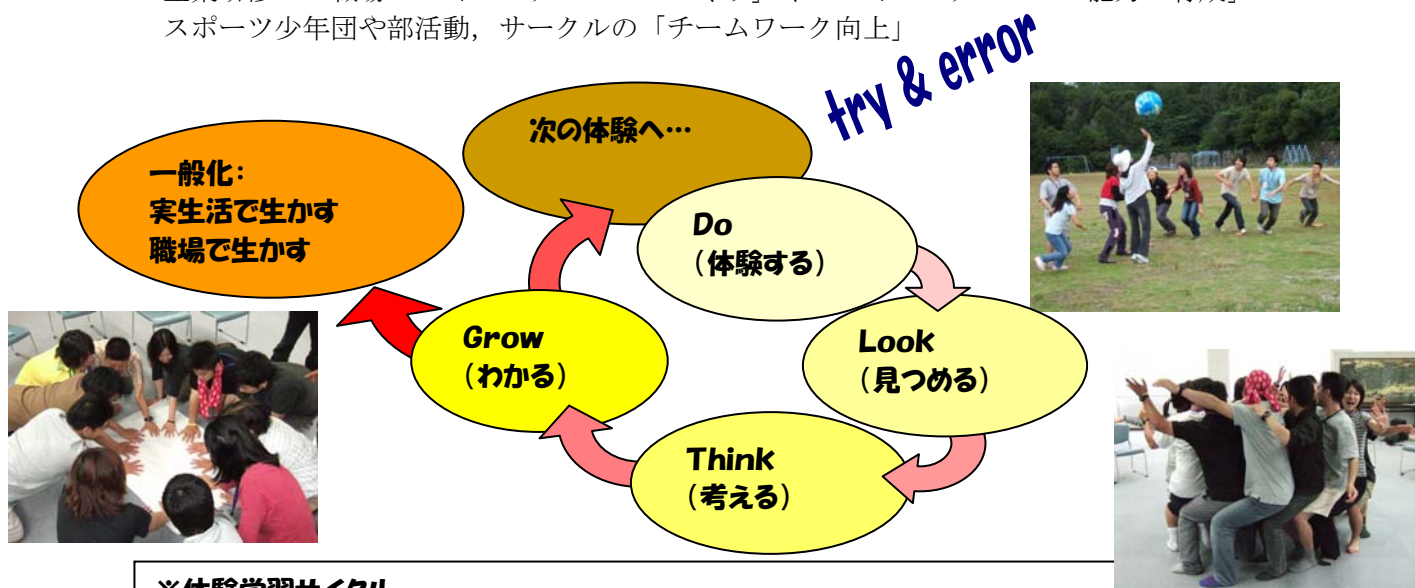
- 体験学習の手法（※体験学習サイクル）を用いながら、与えられた課題をグループで協力して解決する。
- 活動後、「ふりかえり」を行い体験からの気づきや学びを整理し、今後活かしていく。

2 活動のねらい

- 協調性やコミュニケーション力といった社会性を育む。
- 連帯感や信頼感を育む。
- 問題を解決する力を養うとともに達成感を味わう。



(例) 学校の「仲間づくり」や「学級づくり」
 企業研修の「職場のコミュニケーションづくり」や「コミュニケーション能力の育成」
 スポーツ少年団や部活動、サークルの「チームワーク向上」



※体験学習サイクル

「体験」の後、「ふりかえり」を行い、活動中に起こったことや心の動きなどを確認し、グループ内でわかちあい、次の「体験」へ活かす。こうした一連の流れを「体験学習サイクル」と呼ぶ。

3 活動プログラム例（3時間）

時間	活動内容
50分	導入（アイスブレイク） 様々なアクティビティを楽しみながら、グループのメンバー同士の緊張を解いていく。参加者が安心して参加でき活発なコミュニケーションができる状態をつくる。
50分	活動① グループで問題解決型の課題に挑戦する。成功体験を通して、達成感を味わうとともにグループの連帯感や信頼感を高める。
50分	活動② より難度の高い課題に挑戦しながら、効果的なコミュニケーションについて学ぶ。
30分	ふりかえり 体験したこと、学んだことの中から今後（学校や職場）に活かしたい事を整理し、まとめる。

※アクティビティの種類や具体的な活動内容は団体の目的や人数等を考慮して設定する。

※参加者の達成状況等により、時間配分を変更する場合がある。

4 研修対象者

小学生以上とする。

5 研修人数

最大40人

※利用者の多い繁忙期（4月～7月）を除けば、40人以上の対応も可（要問合せ）



6 実施時期、研修時間、研修場所

(1) 実施時期 通年

(2) 研修時間 午前 9:00～12:00
午後13:30～16:30

(3) 研修場所 体育館，講堂，海洋科学室（海洋研修館1F）

※団体の人数や目的等を考慮し，交流の家で調整する。

7 準備物及び服装

個人：筆記用具（ふりかえり用紙等の記入），タオル（汗拭き用），飲み物

服装：動きやすい服装（ジャージ等），体育館シューズ（体育館を使用する場合のみ）

交流の家（事務室）：携帯用救急バッグ（1個），救急法の基礎知識（1冊）

8 指導

交流の家の職員が団体に対し、指導を行う。

9 展開

(1) 「講義・指導依頼書」の提出 ※交流の家ホームページよりダウンロード可能

必要事項を記入し，団体代表者が研修3ヶ月前までに郵送又はFAXで交流の家へ提出する。

「講義・指導依頼書」が到着後，職員は確認の電話をするとともに実施の可否について伝える。

(2) 事前打ち合わせ

「講義・指導依頼書」及び「人間関係づくり研修プログラム」をもとに職員と団体の代表者で打ち合わせを行い，実施方法，安全管理等を説明する。

(3) 研修開始前

①集合場所・・・交流の家が指定した場所

②集合時刻・・・午前 8:50 午後 13:20

③団体の引率者は研修場所に集合させ健康観察を行う。

(4) 研修の実際（展開）

※上記3の活動プログラム例を参照

(5) 研修実施後

①団体の引率者は健康観察を行う。

②団体の代表者の指示で解散をする。

10 連絡先

	一般電話番号
江田島青少年交流の家	TEL 0823-42-0660
	TEL 0823-42-0661
江田島消防署（救急係）	TEL 0823-40-0358

緊急通報用電話番号

119